



堤上野線及び小保酒見線の
道路改修事業の進捗状況
及び幼稚園運営について

箴島かおる 議員

問Ⅱ(1) 現在計画中の堤上野線旧小保踏切から若津新道までの区間の完成予定時期、及びその先の国道208号線までの延長計画について、伺いたい。

(2) 近隣市町村では市立幼稚園はほとんど設置されていないが、市内の幼稚園の定員の充足率が半分位である現在、年間3千7百万円超の市費を投入し市立の木室幼稚園を存続させている。この理由について、伺いたい。

答Ⅱ(1) 県道堤上野線については、平成25年度の完成を目指し、県と協力し事業の推進を図っている。

なお、その先の208号線までの区間については、若津新道までの区間の完成後、間をあけず事業着手いただくよう県に願っていたと考えており、事業着手後、5年から10年程度での完成が見込まれる。

(2) 木室幼稚園は、公立幼稚園の教育方針を希望する父母の存在など、多様化する保護者の要望に応えるため選択肢の一つとして存続している。

当面、園児数の動向などを見きわめながら、市全体の幼児教育のリーダー的役割を強化し、現行どおり運営していきたい。



都市計画道路堤上野線の
進捗状況について

福永 寛 議員

問Ⅱ 堤上野線については、旧小保の踏切から花宗川を越えて県道水田大川線いわゆる若津新道までの区間の早期開通を地元住民は待ち望んでいる。

街並み整備など活力再生のまちづくりにつながるこの道路事業の進捗状況について、伺いたい。

答Ⅱ 堤上野線は、有明海沿岸道路の大川中央インターへのアクセス道路として、県道若津港線(旧小保の踏切)から花宗川を横断して県道水田大川線までの区間について、県により鋭意整備が進められている。この区間が開通すれば、榎津・小保地区と向島地区間の周遊が可能になり、大きな経済効果が期待できる。

現在、小保地区と向島地区の用地交渉を精力的に進めており、平成25年度完成を目標に、県と共に全力で取り組んでいる。

花宗川に架かる橋については、市としても早期建設を要望しており、今年度予算でボーリング等の測量試験、橋梁の詳細設計が行われ、来年度から橋梁の下部工事に着手することである。

議会を傍聴しませんか！

次の市議会定例会は、開会日を9月6日(月)に、
一般質問を9月9日(木)、10日(金)に予定しています。
みなさまの傍聴をお待ちしております。

9月議会からインターネットによる議会中継を予定しています。

なお、議会の日程は、変更になることもありますので、
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL 85-5622 直通)